

H26 生命(いのち)のメッセージ展 アンケート結果

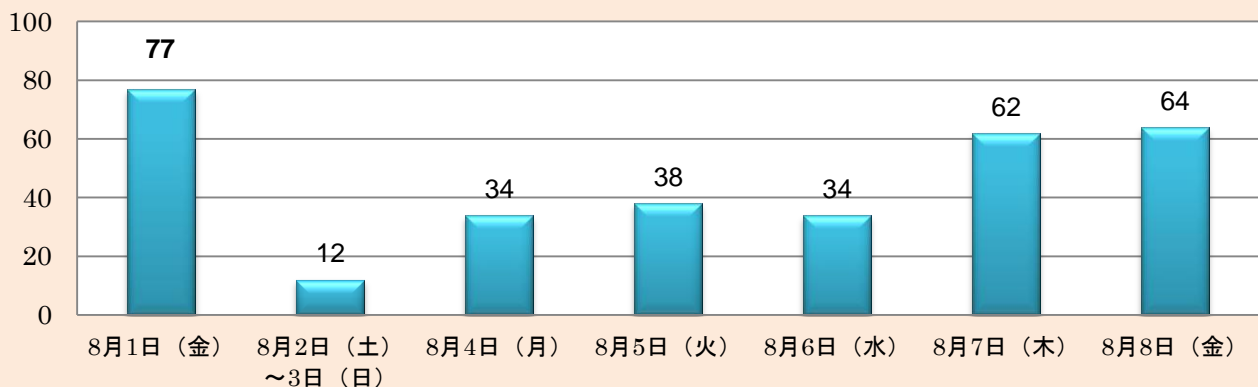
- 実施日時：平成26年8月1日（金）～8日（金）
- 実施会場：堺市役所 本館1階 エントランスホール
- 回答数：321件

【集計結果の数値の見方について】「複数回答可の設問」については、1名あたりが複数回答している前提のため、%の合計が100%を超えることになります。

◆アンケート回答者数

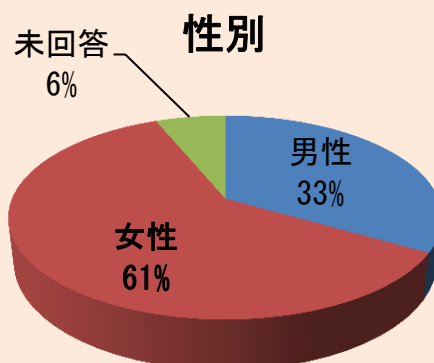
8月1日 （金）	8月2日（土） ～3日（日）	8月4日 （月）	8月5日 （火）	8月6日 （水）	8月7日 （木）	8月8日 （金）	合計
77	12	34	38	34	62	64	321

アンケート回答者数



問1 性別について

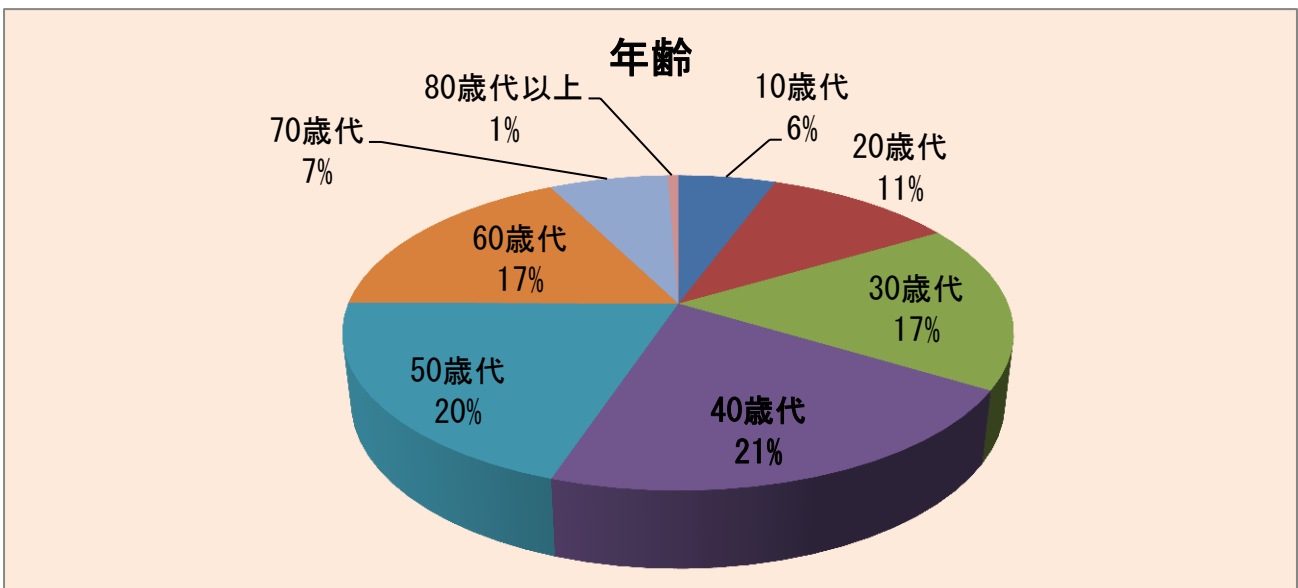
男性	女性	未回答	合計
107	194	20	321



- ・女性の回答が6割を超えた（61%）。

問1 年齢について

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	未回答	合計
18	35	55	69	64	56	22	2	0	321

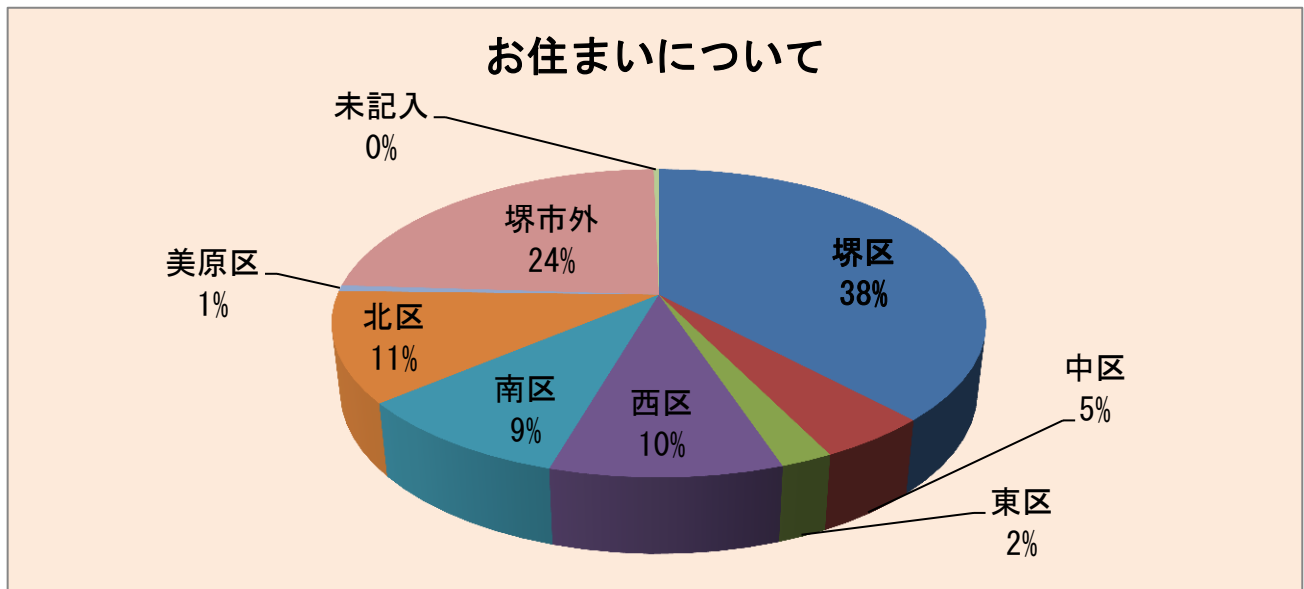


- ・40歳代が最も多く（21%）、次いで50歳代（20%）、30歳代及び60歳代（17%）であった。

問2 お住まいについて

堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区	堺市外	未記入	合計
122	15	7	31	30	37	2	76	1	321

○堺市外（大阪市・八尾市・高石市・富田林市・河内長野市・和泉市・吹田市・東大阪市・池田市・茨木市・岸和田市・寝屋川市・貝塚市・松原市・神戸市・奈良県・岡山市・神奈川県）



- ・堺市内では「堺区」からの来場者が最も多く（38%）、堺市外からの来場者も多数を占めた（24%）。

問3 今回のパネル展を何でお知りになりましたか？（該当するもの全て）

案内チラシ・ポスター	広報さかい	堺市HP	庁舎内インフォメーション※	知人から聞いた	通りがかり	その他	合計
15	22	11	63	19	192	16	338

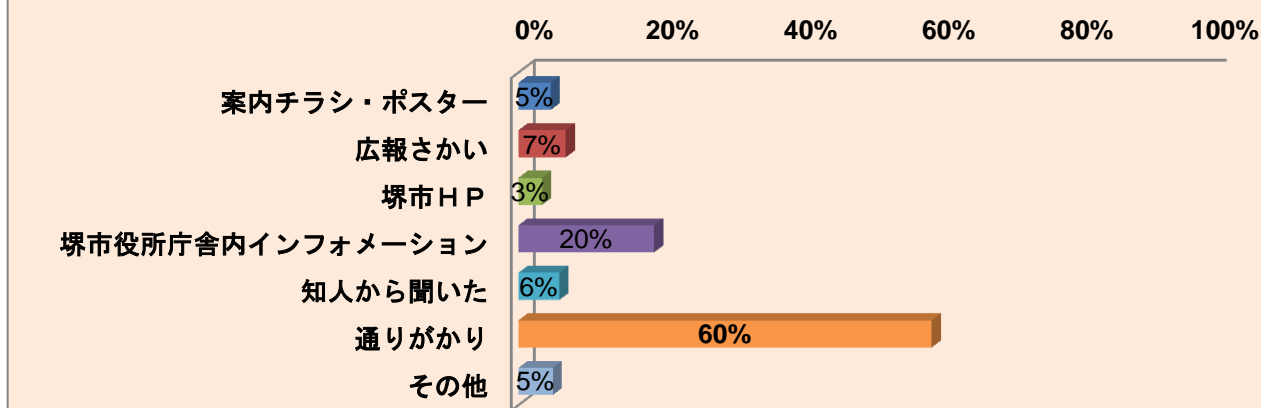
○その他（私用で、仕事で、娘、市職員より、職場から、職場研修で、今知った）

※インフォメーション内訳

庁舎広報モニター	エレベーターインフォメーション	館内放送	その他	合計
3	2	11	0	16

※「堺市役所庁舎内インフォメーション」のみの回答もあり、インフォメーションとその分類の合計は一致しません。

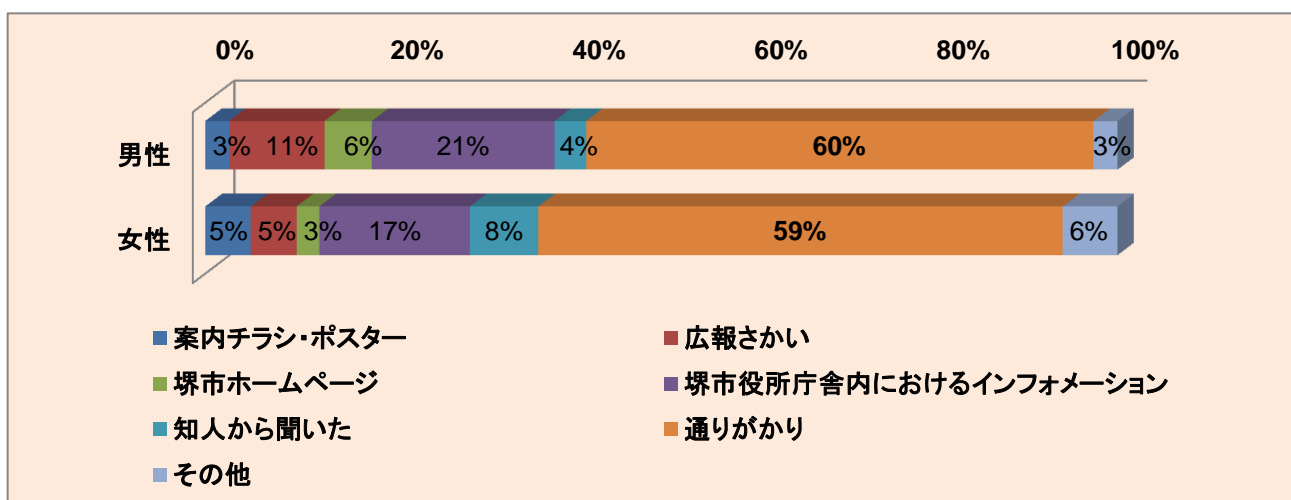
生命（いのち）のメッセージ展を知ったきっかけ



・「通りがかり」が半数以上(60%)で、次いで「堺市役所庁舎内インフォメーション」(20%)だった。インフォメーションでは「館内放送」が最も多かった。

◆性別による「知ったきっかけ」

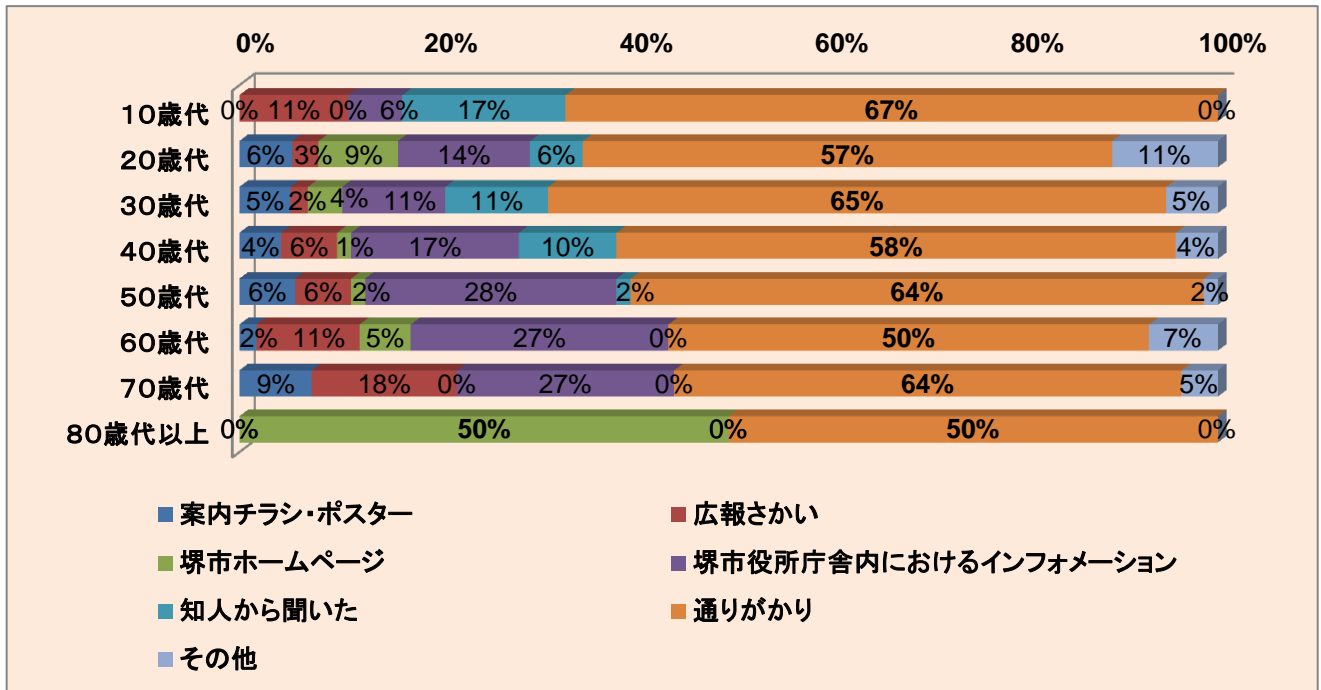
	案内チラシ・ポスター	広報さかい	堺市HP	庁舎内インフォメーション	知人から聞いた	通りがかり	その他	合計
男性	3	12	6	23	4	64	3	115
女性	10	10	5	33	15	115	12	200



・男性、女性ともに「通りがかり」が半数以上を占め（男性：60%・女性：59%）、次いで、「庁舎内におけるインフォメーション」だった（男性：21%・女性：17%）。男性では「広報さかい」が11%を占めた。

◆年代別による「知ったきっかけ」

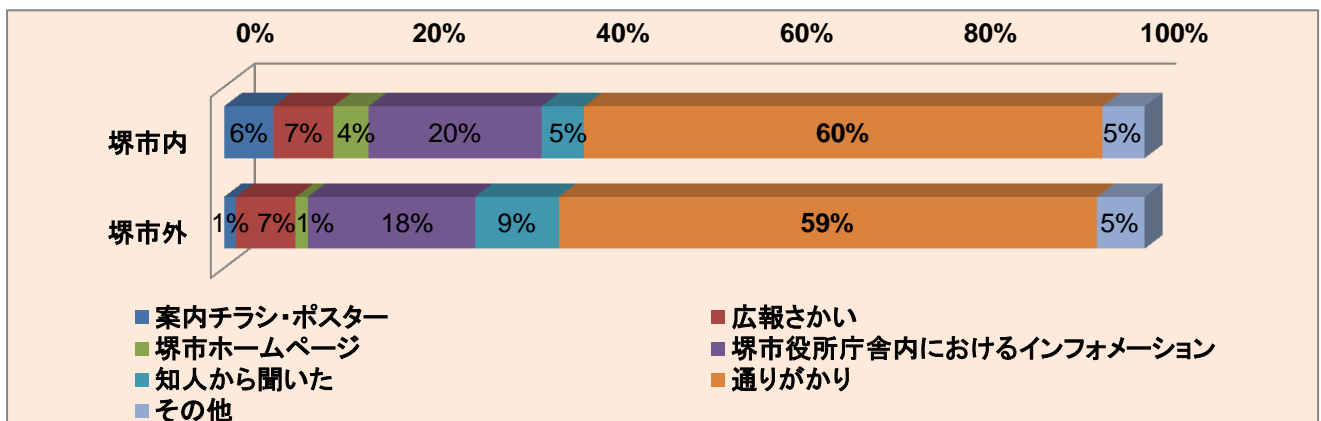
	案内チラシ・ポスター	広報さかい	堺市HP	庁舎内インフォメーション	知人から聞いた	通りがかり	その他	合計
10歳代	0	2	0	1	3	12	0	18
20歳代	2	1	3	5	2	20	4	37
30歳代	3	1	2	6	6	36	3	57
40歳代	3	4	1	12	7	40	3	70
50歳代	4	4	1	18	1	41	1	70
60歳代	1	6	3	15	0	28	4	57
70歳代	2	4	0	6	0	14	1	27
80歳代以上	0	0	1	0	0	1	0	2



・全世代で「通りがかり」が半数前後の割合。10歳代で「知人から聞いた」が17%を占め、「広報さかい」は年齢層が上がるにつれ高くなっている。

◆「堺市内・市外」の方の「知ったきっかけ」

	案内チラシ・ポスター	広報さかい	堺市HP	庁舎内インフォメーション	知人から聞いた	通りがかり	その他	合計
堺市内	14	17	10	49	12	147	12	261
堺市外	1	5	1	14	7	45	4	77

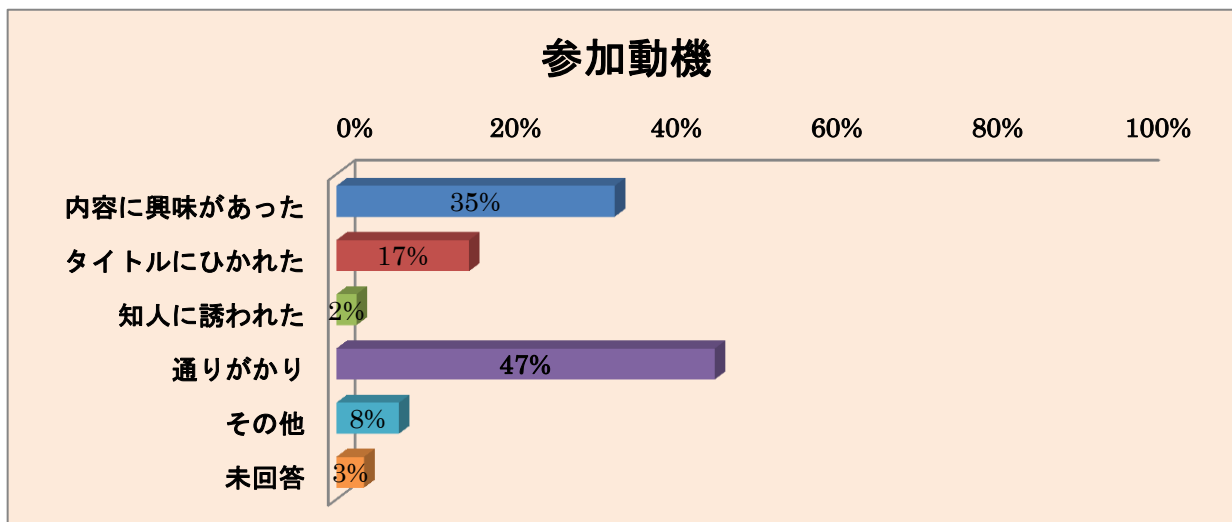


・堺市内・市外ともに「通りがかり」が最も多く（市内：60%・市外：59%）、次いで、「庁舎内におけるインフォメーション」（堺市内：20%・堺市外：18%）。堺市外では「知人から聞いた」が9%を占めていた。

問4 参加された動機は何ですか？（該当するもの全て）

内容に興味があった	タイトルにひかれた	知人に誘われた	通りがかり	その他	未回答	合計
111	53	8	151	25	11	359

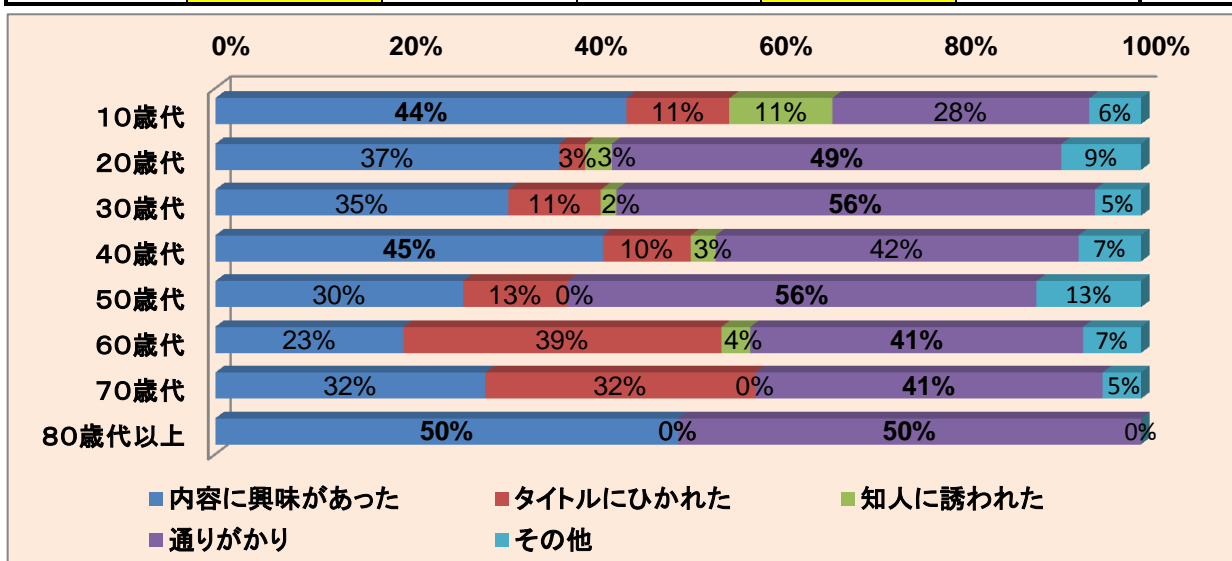
○その他（テレビで見たため、以前から来てみたかった、知人から聞いた、職場研修、近親者を事故で無くしているため など）



・「通りがかり」が最も多く（47%）次いで、「内容に興味があった」という人が多かった（35%）。

◆年代別による「参加動機」

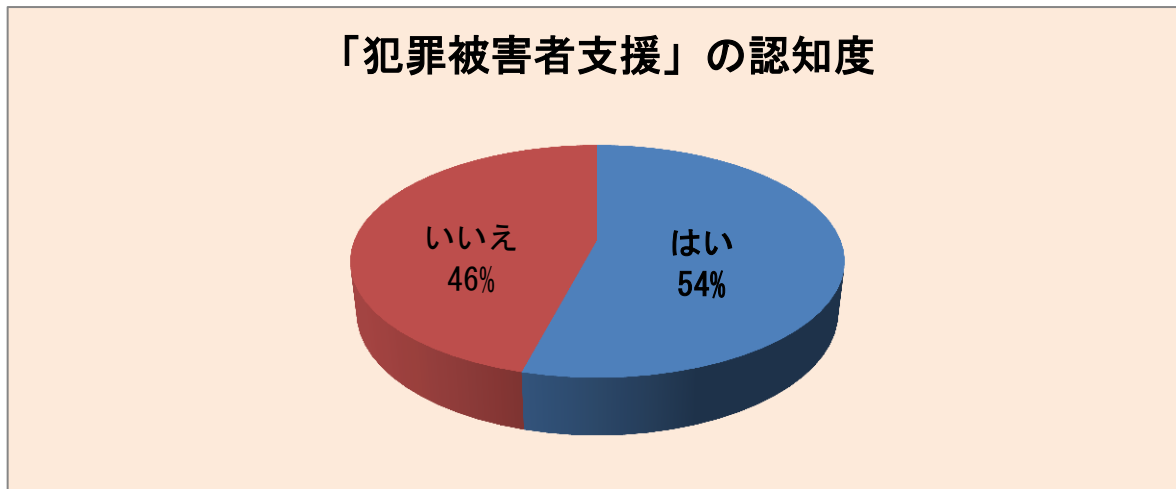
	内容に興味があった	タイトルにひかれた	知人に誘われた	通りがかり	その他	合計
10歳代	8	2	2	5	1	18
20歳代	13	1	1	17	3	35
30歳代	19	6	1	31	3	60
40歳代	31	7	2	29	5	74
50歳代	19	8	0	36	8	71
60歳代	13	22	2	23	4	64
70歳代	7	7	0	9	1	24
80歳代以上	1	0	0	1	0	2



・各年代とも「通りがかり」が参加動機を占めているなか、10歳代及び40歳代では「内容に興味があった」が多数を占めている（10歳代：44%・40歳代：45%）。

問5 「犯罪被害者支援」という言葉は知っていましたか？

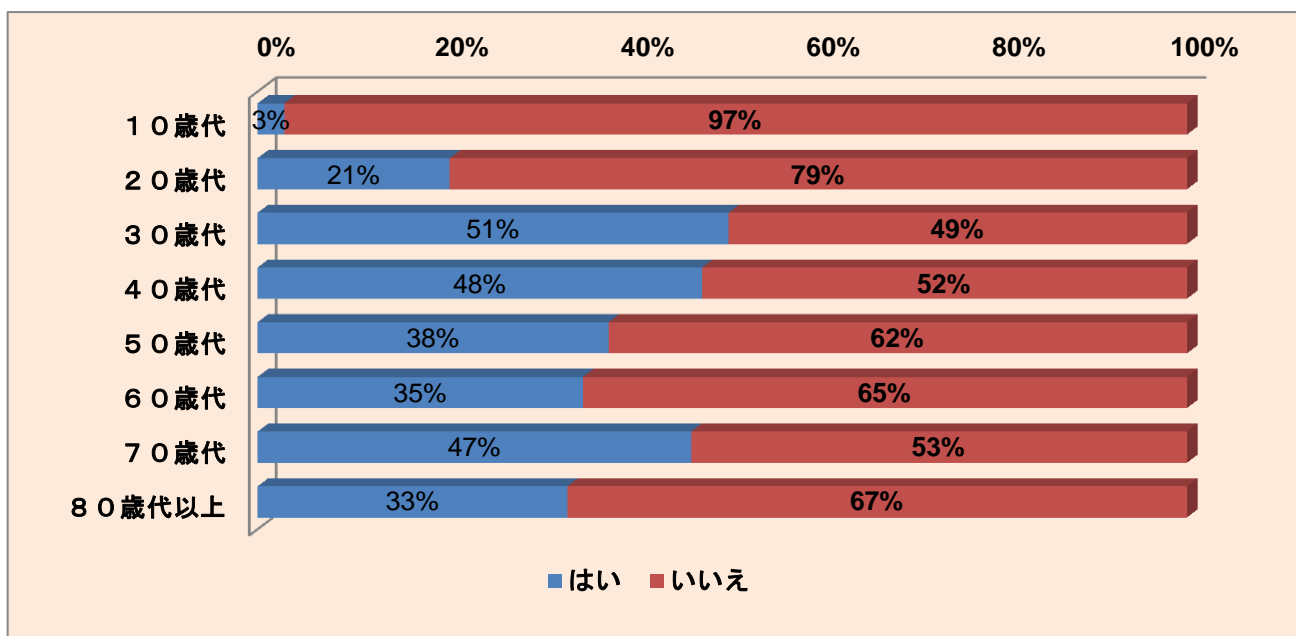
はい	いいえ	合計
171	145	316



・回答者半数以上が「犯罪被害者支援」の言葉を知っていた。

◆年代別による「犯罪被害者支援」認知度

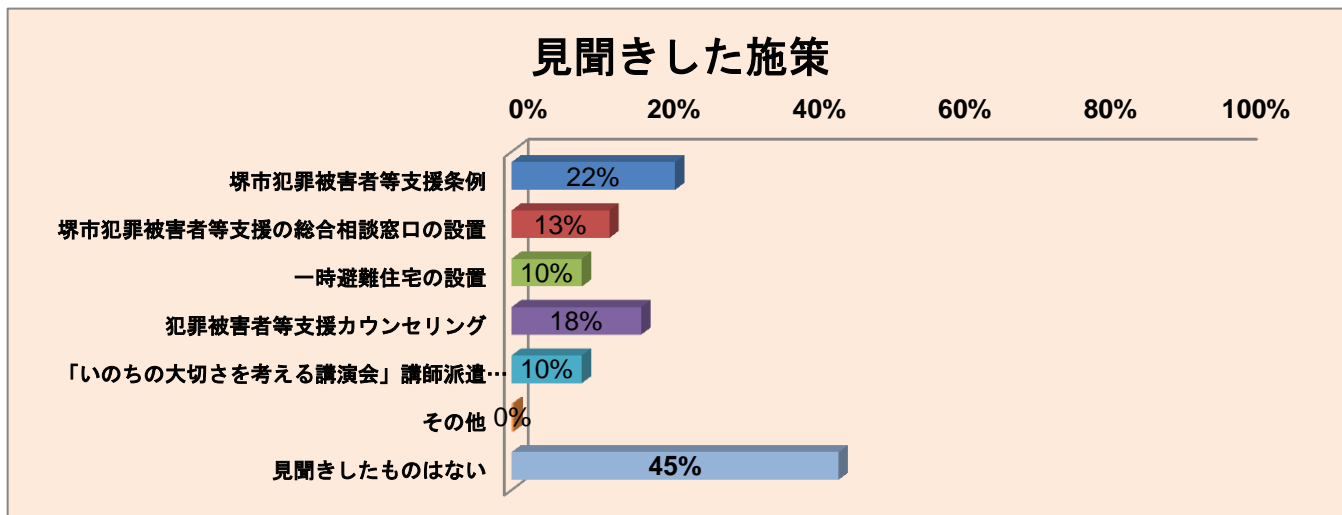
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
はい	1	12	37	44	34	28	14	1
いいえ	34	46	36	48	56	52	16	2
合計	35	58	73	92	90	80	30	3



・10歳代、20歳代で特に認知度が低いが（10歳代：3%・20歳代：21%）、30歳代では認知度が半数を超えている（51%）

問6 堺市における犯罪被害者等支援条例をはじめとする施策で、次のなかで見聞きしたことがあるものはどれになりますか（該当するもの全て）

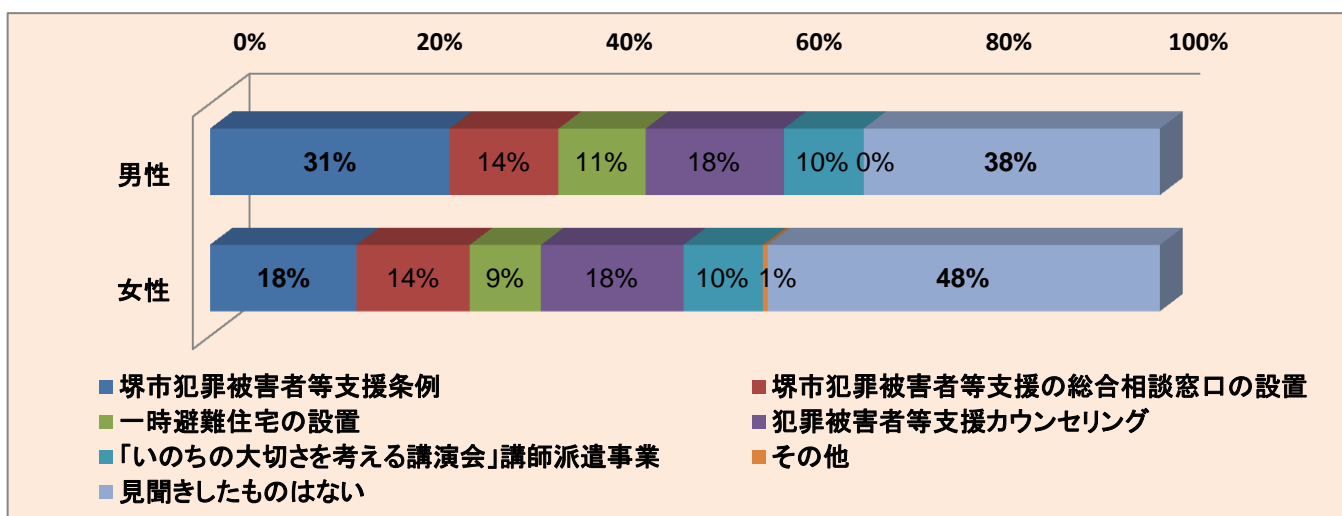
堺市犯罪被害者等支援条例	堺市犯罪被害者等支援の総合相談窓口の設置	一時避難住宅の設置	犯罪被害者等支援カウンセリング	「いのちの大切さを考える講演会」講師派遣事業	その他	見聞きしたものはない	合計
72	43	31	57	31	1	144	379



・「見聞きしたものはない」が半数近いなか（45%）、「犯罪被害者等支援条例」の認知度が22%、「犯罪被害者等支援カウンセリング」の認知度が18%となっている。

◆性別による「施策認知度」

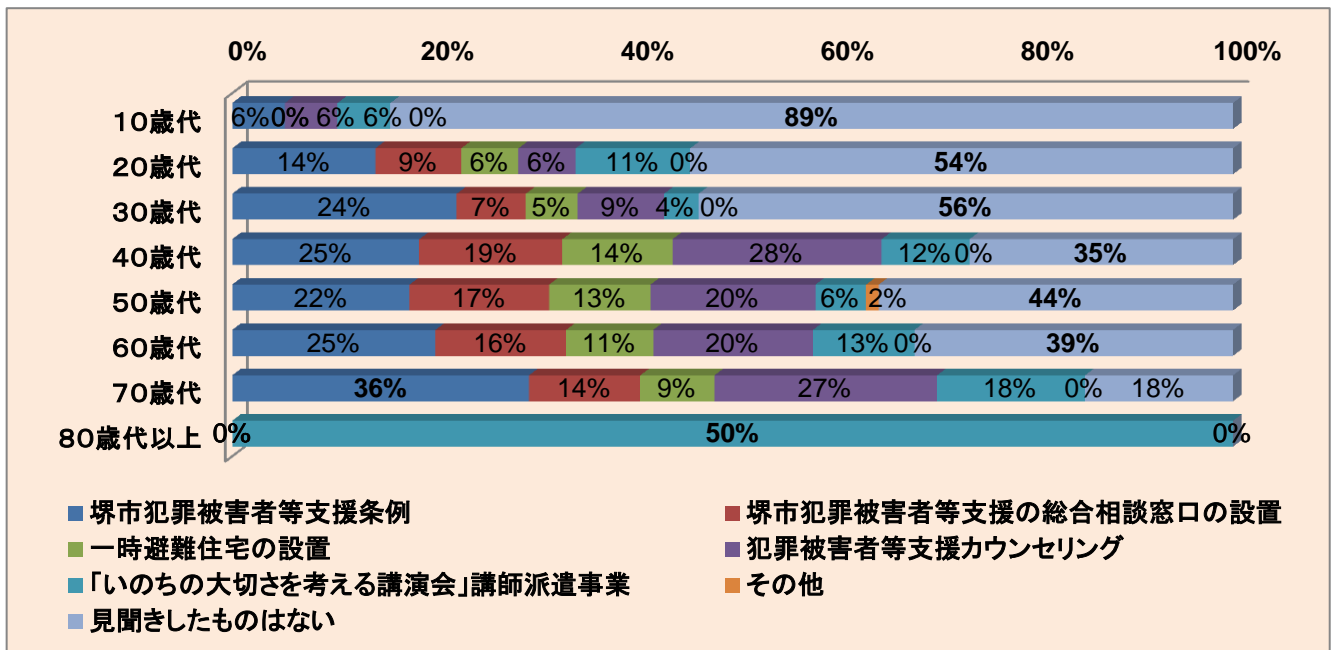
	堺市犯罪被害者等支援条例	堺市犯罪被害者等支援の総合相談窓口の設置	一時避難住宅の設置	犯罪被害者等支援カウンセリング	「いのちの大切さを考える講演会」講師派遣事業	その他	見聞きしたものはない	合計
男性	33	15	12	19	11	0	41	131
女性	35	27	17	34	19	1	94	227



・男性、女性ともに「見聞きしたものはない」が最も多いなか、ともに「犯罪被害者等支援条例」の認知度が高く（男性：31%、女性：18%）、また女性では「カウンセリング」の認知度が高かった（18%）。

◆年代別による「施策認知度」

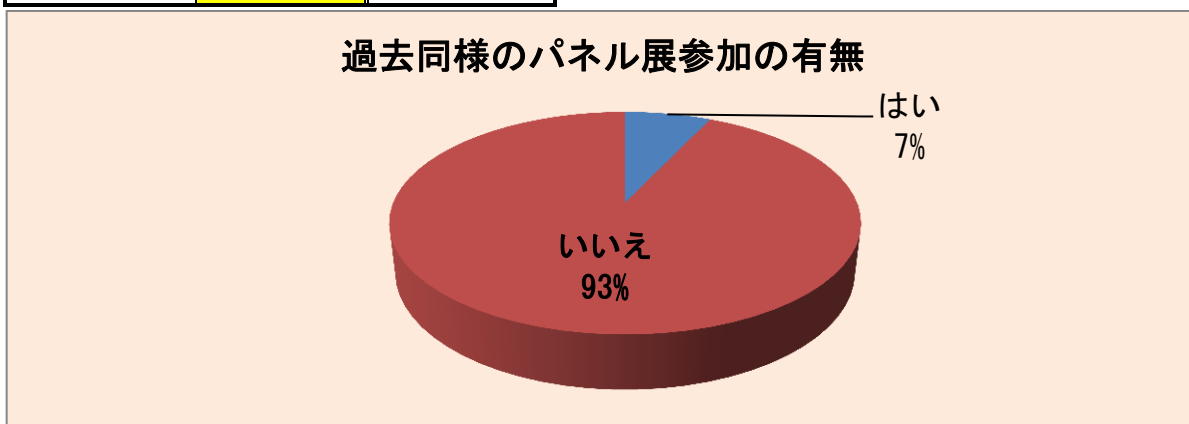
	堺市犯罪被害者等支援条例	堺市犯罪被害者等支援の総合相談窓口の設置	一時避難住宅の設置	犯罪被害者等支援カウンセリング	「いのちの大切さを考える講演会」講師派遣事業	その他	見聞きしたものはなし	合計
10歳代	1	0	0	1	1	0	16	19
20歳代	5	3	2	2	4	0	19	35
30歳代	13	4	3	5	2	0	31	58
40歳代	17	13	10	19	8	0	24	91
50歳代	14	11	8	13	4	1	28	79
60歳代	14	9	6	11	7	0	22	69
70歳代	8	3	2	6	4	0	4	27
80歳代以上	0	0	0	0	1	0	0	1



- ・10歳代～30歳代は半数以上が施策を知らず、年齢層が高まるほど認知度は高くなる。「犯罪被害者等支援条例」の認知度が各年代で比較的高く、次いで「総合相談窓口の設置」が40歳代（19%）、50歳代（17%）、60歳代（16%）となった。

問7 これまで犯罪被害者支援に関するパネル展に出席したことはありますか？

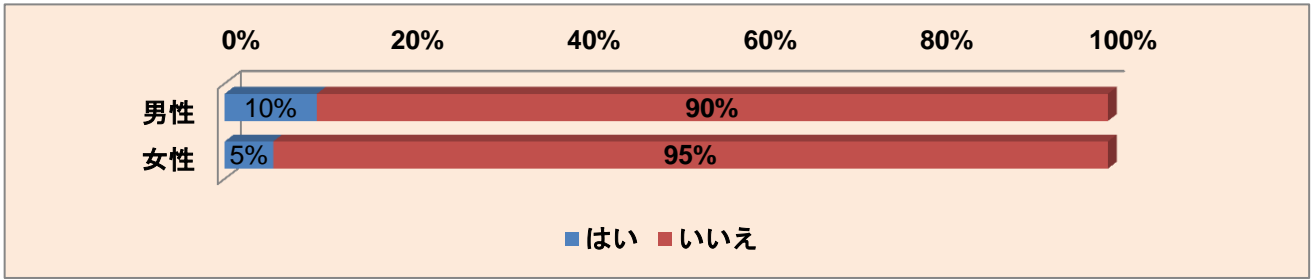
はい	いいえ	合計
21	277	298



- ・今回初めてパネル展に参加した人が多かった（93%）。

◆性別による「犯罪被害者支援パネル展参加」

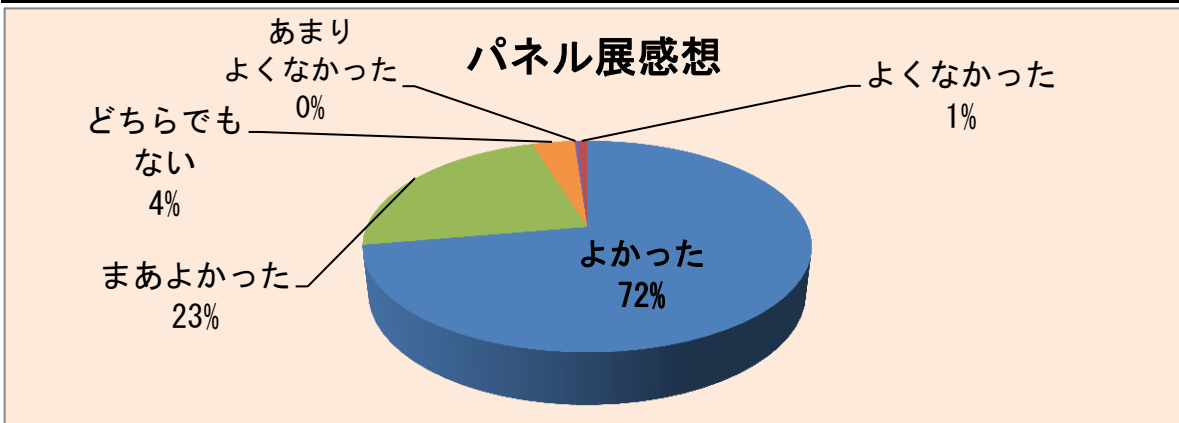
	はい	いいえ	合計
男性	10	86	96
女性	10	172	182



・男女ともに初めての参加者が多かった。

問7 生命のメッセージ展感想

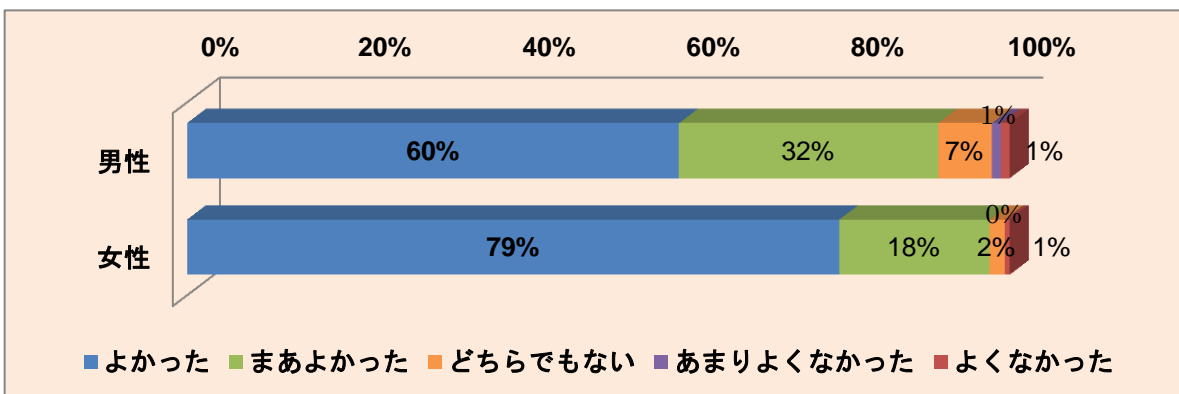
よかった	まあよかった	どちらでもない	あまりよくなかった	よくなかった	合計
198	63	10	1	2	274



・大多数（72%）が「よかった」と感じていた。

◆性別による「パネル展感想」

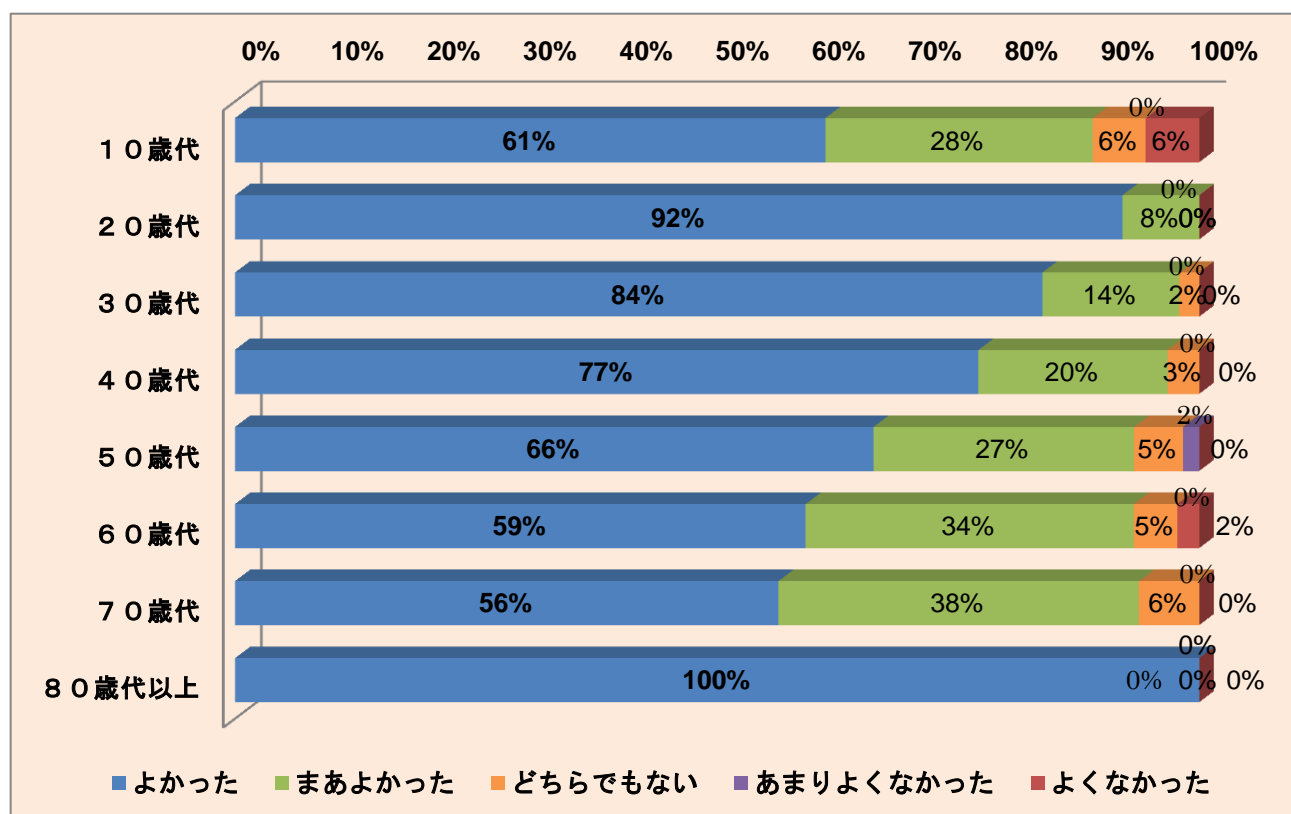
	よかった	まあよかった	どちらでもない	あまりよくなかった	よくなかった	合計
男性	55	29	6	1	1	92
女性	130	30	3	0	1	164



・女性のほうが「よかった」と感じた割合が高かった（79%）。

◆年代別による「パネル展感想」

	よかった	まあよかった	どちらでもない	あまり よくなかった	よくなかった	合計
10歳代	11	5	1	0	1	18
20歳代	23	2	0	0	0	25
30歳代	41	7	1	0	0	49
40歳代	47	12	2	0	0	61
50歳代	39	16	3	1	0	59
60歳代	26	15	2	0	1	44
70歳代	9	6	1	0	0	16
80歳代以上	2	0	0	0	0	2



- 全世代で「よかった」「まあよかった」と感じた方が大多数を占めているなか、20歳代では9割を超える方が「よかった」と感じていた。

◆感想記述内容

たくさんの罪のない人たちが、命を落とすなんて、とても悲しい事です。

遺族の方は、何年何十年経っても忘れることが、できないと思います。新聞、TVで、報道されるのは痛ましい事件ばかりで、胸が痛いです。誰一人悲しい思いをしない時代が来てほしいです。皆、生きたかったと思いながら無念の思いで亡くなっていったのです。ご冥福をお祈りします。

(50 歳代 女性)

等身大のパネルと、写真、遺品がより現実性を増し、心に迫ってきました。(50 歳代女性)

顔写真と説明の文章と靴をみて、辛くて最後まで、読めませんでした。亡くなった方への思い、生命の大切さ、事件、事故のむごさが、とても伝わって来ました。

毎日、大きな事件が放送されるこのごろ。私も、いつ被害者になるかと思えば、辛いです。

文章の字がもう少し大きければ、読みやすかったと思う。(60 歳代女性)

子どもたちの交通事故の痛ましがわかった。私の小さい時は、まだこんなに車がない時代でした。道は砂利道でした。

今の子どもさんたちは車が多いので大変な状態にあると思います。学校、親が、車は絶対危険なものだと教えなければならない。車は急に止まれません。すべて大人の責任です。大人が、全責任をもって、子どもたちを守ることが大事です。戦争もそうです。子どもたちを殺してしまう。

社会をよりよい方向に 21 世紀はもっていかなければなりません。特に子どもたちに、又、若い人に対する大人の責任は重大です。(60 歳代 男性)

命の大切さをあらためて理解できた。わが子と同じ年ごろの亡くなった人たち親の無念さを感じた。(50 歳代 女性)

考えさせるものがあつた。(60 歳代 女性)

くつを置いているのが、とても shocking でひとごとと思えなかった。(60 歳代 男性)

人間の心の根本を深く考え直さねばならん。人権とはそも何ぞや。(60 歳代)

子ども 2 人を持つ母として、幼い命がこんなにも無残にもこの世を去るのかと涙なくして見れなくなりました。どうか残った人が心安らかに過ごせる世の中であってほしいと思います。(50 歳代 女性)

胸がしめつけられました。理不尽に命を奪われた人、その残された家族のことを考えると言葉が見つかりません。暴力のない社会は、いつになれば実現するのでしょうか。(40 歳代 女性)

被害者の方の無念、ご家族の悲しみがとても伝わってきました。(30 歳代 女性)

今の日本の国の中では、いろいろな犯罪になる一歩手前の事がいろいろあることを知りました！それは、社会だけでしょうか？市民を守るべき国または、市も同じことを表には出ていないが、今一度考え直していただきたいと思います。(一障害者の意見です) (40 歳代 男性)

その人たちの身長、笑顔と靴が、永遠に変わらない。時間が止まってしまうだけでなく、変わることができない家族の思いが伝わってきます。

いつ、どんなことがきっかけで、犯罪被害者或いは加害者となるかわかりません。被害に合わないため・・・だけではなく、加害者にならない、させないためのパネル展となりますように。(50歳代 女性)

命の大切さや重みをどのようにして子どもに伝えたら良いのか悩んでいました。

今回のパネル展のように視覚で訴えることは、より心に響くのではないかと思います。子どもたちに命の尊さを伝えるのは、日々の様々なコミュニケーションなどからだと思っています。

今日帰ったら子どもたちに、このパネル展について話したいと思います。(40歳代 女性)

実に行った内容なので重く受け止めたいと思います。

私にも子どもが3人いますので、人事ではなく、日頃の生活にも寄り添い、家族とのコミュニケーションも、取り合える環境作りをしたいです。(40歳代 女性)

車がなくならない限り事故はなくならない。又地元警察にいくらいっても、取り締まりを強化しない警察にも問題があると思う。

交通事故特に死亡事故等の、罪が軽すぎると思う。飲酒事故の様なものはもっと罪を重くすればいいと思う。(50歳代 男性)

いろいろな人が、夢や思いをだいていたのに、悲しい、結末で命をうばわれるということがみんないやだと思えます。これからも、人の命をうばうことは、けっして、だめだと思えます。(10歳代 男性)

宣伝も行き届いていない。みんな知らない。(50歳代 男性)

交通事故で亡くなられた人々の声がひしひしと私の心に訴えかけて来ます。

現在の免許証制度の見直しも検討していただきたいものです。各自動車メーカーにも、前方障害物が有れば自動的にブレーキがかかる様な車をつくってほしい。(60歳代 男性)

胸がつまる。(つまらされる)→次は自分かも。(50歳代 女性)

自分より年下の人たちが、事故などで亡くなっていくのは残念でしかなかった。

また、人の命を奪うことは、どんなにいけないことかと思った。どんな人でも命の重さは同じだと思う。(20歳代 女性)

被害者の立場に立った時の事を思うと、やりきれない気持ちになりました。今後も支援活動を応援します。(50歳代 男性)

パネルの写真と実際使用されていたくつを見て、事故にあわれた方、命を落とされた方の怒り、悔しさ、訴え等々心のメッセージが強烈に伝わってきた。

私はたまたま通りがかってこのパネル展を知ったが、より多くの人にこのパネル展を見てほしいと思った。(30歳代 女性)

<p>テレビで見るような事件、事故について、最近は、加害者側、被害者側のどちらからの観点で見ることのできるものはありますが、やっぱり、事件、事故を被害者側の立場で見ると刑罰が軽すぎるように思います。</p> <p>最近では、脱法ドラッグなどの事故もテレビで見ない日は、ないように思います。本当の意味での被害者救済はどうしたら良いのでしょうか。（30 歳代）</p>
<p>「人の命」は突如としてうばわれることが当然のようにあることを改めて知らされました。他人ごとではありません！（40 歳代 男性）</p>
<p>インターネットや書籍等でなく、直接等身大のパネル、写真、使用した靴などを、目で見ることができ、より身近な事、生きた人として感じることができ、考えさせられるものがあった。（20 歳代 男性）</p>
<p>遺族の無念がはかり知れない。出来事が急なこともあり、心情の整理がつくものでないだろう。司法の場で加害者の量刑も、到底納得できるものでないだろう。納得できるものなどないだろう。残された家族支援の前に、このような事故を未然に防止できる対策はないものだろうか。（30 歳代 男性）</p>
<p>殺人にせよ、交通事故にせよ、一瞬に失われる命。家族や親族の悲しみの深さは、はかりしれないものです。</p> <p>誰もが、当事者になりうるのです。加害者にも被害者にも（50 歳代 女性）</p>
<p>私も主人を今年の3月に亡くしました。前を向いて生きていくことには中々時間がかかります。亡くなって初めて知ったことかも知れません。（30 歳代 女性）</p>
<p>大変だと思いますが、スタッフの方にいていただいて、声掛けをしていただくと、もっとメッセージが届いたと思います。御遺族の方々のストレートな想いを、加害者側にも聞いてもらいたいし、自分たちが、加害者になることのないよう気を付けていきたい。（40 歳代 男性）</p>
<p>私は、車を運転したことがありません。免許をもっていないからです。将来、車の免許をもち運転する事になった時、この展示会に出会ってなかったらお酒を飲んで車を運転していると思います。なぜなら、自分は車を運転してお酒を飲んでも、自分なら人をひかないと思っていたからです。</p> <p>ぜひたくさんの方に、この展示会を見て読んでいただきたいです。（20 歳代 女性）</p>
<p>まったく無関係なのに、直視しづらい展示内容で心が病んだ。飲酒運転をさせない啓発としては良いと思ったが、被害者を展示するという事を良かったと評価しづらいために、3. どちらでもないとした。（30 歳代 男性）</p>
<p>加害者の罪が軽いことに腹がたちます。特に小さい子どもさんの事故はつらいです。（50 歳代 女性）</p>
<p>とつぜん奪われる生命のせつなさ、残された者のやるせなさを感じる。（40 歳代 女性）</p>
<p>若くして亡くなられた方の笑顔パネルを見ると涙が出てきました。（50 歳代）</p>

突然の出来事、残された家族の気持ちを考えると、加害者々は十分に反省をし、今後につなげる行動をとって欲しい。(60歳代 女性)

他の用事で市役所へ来て、通りがかりに目にさせていただきました。胸がしめつけられます。なぜ?此の様なおだやかなお顔の人たちが・・・と思うとこみ上げて来ます。(70歳代 女性)

もう語る事が出来なかったことが、残された人々の悲しさや、本人の無念さが1人称で語られ、すごく胸をうたれました。

時として、被害者であるのに悪く語られる事があるなか、もっと大きくアピールして欲しいと思います。一人一人に語りかけてくるパネル展という、表現方法はいいと思いました。(40歳代 女性)

まず、関係者様には、大変お辛い経験の上、この様なパネル展開催に際し、大変な心中の程、お察し申し上げます。

等身大パネル及び遺品の靴の展示は、心痛い想いで拝見させて頂きました。この様なつらい体験はしたくない!誰にもしてほしくない!!と心より痛感致しました。

何の罪もない命が、どうして突然奪われなければならなかったのか?そして、その真実が、なぜ色々な形で表面化されず葬りさらられなければならないのか?亡くなった生命は戻らず、そして語ることも出来ず、残された者のやるせないもどかしさを痛い程感じざるを得ない展示に、涙があふれました。

誰にでも突然おこりうることで、他人事ではなく、自らも被害者、加害者になるかもしれない現実から、目を背けることなく、まずはこの様な機会を受けとめる事の大切さを感じました。

何かわからない不安と、見たくない現実ではありますが、これからもこの様な機会があれば、是非参加させて頂きたいと思います。ありがとうございました。(50歳代 女性)

本人の遺物(?)くつ等が展示されており、胸が痛みました。残された家族の声にも涙が出て、止まりませんでした。

加害者が守られる。被害者としては、いたたまれないですね。犯罪のない世の中を望みます。(50歳代 女性)

私は自動車学校を卒業したばかりで、もうすぐ免許を取る予定ですが、車は凶器だということと改めて感じました。(30歳代 女性)

生命が奪われる。そのことの重さをあらためて感じた。被害者のくやしき、かなしみが伝わってきて、しばらくは、言葉が出なかった。(60歳代 男性)

車を運転する1人として、これから十分に気を付けて運転していきたいと思った。(20歳代 男性)

かなり衝撃的なコメントも有り、見ごたえがありました。(30歳代 男性)

私にも4歳になる息子と、2歳になる娘がいます。

自分の事のように置き換えてみると心が痛くなりました。(30歳代 男性)

ニュース等でこのパネル展のことは知っていたので、興味があって見学したが、まだまだ知名度不足。インターネットや市町村の広報誌を活用して、もっと告知活動を展開してみてもうかが。きっと興味を持つ人は多くいるだろう。(40歳代 男性)

私自身、身近な人を急に亡くしており、少し共感するところがあった。病気ということで、気持ちのもって行く所がなく、辛さがあつたが、だれかのせいで、そうなっていたと思うと、それ以上のつらさがあるのだと思った。

このような形で、気持ちを表現できるようになるまでには、相当の時間がかかったと思うが、私のように病気とは違って、立ちなおし、生活していけるようになるのは、もっと大変なのではと思う。

同じ気持ちには絶対になれないけれど、身体をこわさず、遺された方々が、生きる目標を見つけ、生きていかれることを強く望みます。同じ気持ちにはなれないといいながら、生意気ですいません。(30歳代 女性)

広く人達に、現状を知ってもらうのに良い事だと思いました。(50歳代 女性)

命の尊さが伝わった。(40歳代 男性)

自分自身もいつ、被害者、加害者になるかもしれないと思い、自分を見つめ直す事が出来ました。(40歳代 男性)

40年前免許を取る時に、「事故を起こしたら、絶対運転をしていた人が悪いから気をつけてする様に」と言われた事を思い出します。その言葉で常に運転には気をつけて来ました。

今、運転者の意識が薄れていると思います。信号機のない横断歩道で止まる事はほとんどありません。大浜北町の信号機のある大きな交差点でも、警察の方が立っている時だけは止まってくれます。とにかく、マナーがなってない！

一時警察の免許更新の所へ電話をかけようと思った位です。一人の方が亡くなるとどれだけの人が悲しむか！加害者にも家族があり、いつ自分の家族も被害者になるかも知れない。もっと事故を起こしたら、厳罰にするべきで、あまりにも軽すぎる為、もっと被害者側によりそってほしい！(60歳代 女性)

被害者の人権についての配慮が、まだまだ足りないと思いました。

亡くなった方の人権も生きている人の人権と同じくらい大事にするべきだと思いました。(30歳代 男性)

過去の犯罪を忘れない。(50歳代)

親の気持ちを思うと、とても胸が熱くなりました。(40歳代 女性)

大切な人がいなくなる悲しさは、亡くなった人にしか解らないから、亡くなった人達の声を届けて、世の中の危険さや、状況をよく知る大事さが解りました。

これからも活動がんばって下さい。(20歳代 男性)

本当に悲しい出来事ばかりでした。いたたまれなく・・・。心から御冥福をお祈り申し上げます。※小さな子のなど重い命。罪が、かるすぎます。(20歳代 女性)

堺市役所のエントランスでこのような催しをされることは、多くの来館者の目にとまり非常に有意義と思う。

交通事故死（ほとんどが運転者の不注意による）が多いのが気がかりである。

小生は運転席に「車は走る凶器。心豊かに運転を！」とのステッカーを張り、最大の注意を払い運転しています。（70 歳代）

人の生命とはなにか？というのを改めて考えさせられた。

たった一人の不注意や慢心で、何人もの人を悲しませたり加害者のした行動に疑問をもった。

飲酒・無免許運転事故が目立ち、厳罰化や規制などを強化してほしい。（20 歳代 男性）

実際に被害にあわれた写真、文章を読み、涙がこみあげた。（40 歳代 女性）

家族の方々の思いが強烈に伝わってきました。

いろいろなことがオーバーラップして、自分自身の心を見つめなおすきっかけにもなりました。

事件や事故の事実を伝え、日々の生活を見直すきっかけにするためにも、このような催しは、もっと頻繁に行ってほしいし、報道してほしいと思います。（40 歳代 女性）

私物が展示されている事で現実感があり、より他人事ではなく感じられました。（30 歳代 女性）

理不尽な事故により、命を絶たれて、どれだけ無念だったか。

同じ様な犯罪、事故が減らない事に怒りを感じます。泣けてきました。（50 歳代 女性）

あらためて、これだけ、今はもっとあるでしょうが、毎日の犯罪の多さに、テレビのニュースでも胸を痛めている 1 人です。

酒を飲んだら車に乗るな！本当に 1 人 1 人が気をつけていかないと、この問題も減っていかず、まだまだ、増えていくように思える毎日です（60 歳代 女性）

命の大切さ、尊さ、犯罪がどれ程ひどいものか、よく分かりました。私の命も大切に生きていきたいと思います。

また、世の中の犯罪者や事件に対しても、もっと興味を持ち、知識を深めていこうと思います。

（30 歳代女性）

様々な犯罪や事件、事故が毎日のように起こり、ニュースを見るたびに被害者遺族の悲しみを思ってしまう。

被害者のプライバシーは守られず、顔写真、人柄、行動があたりまえのように報道され、加害者のことは、何も出てこない時に、とても疑問を持ちます。

このようなパネル展を多くの方が見て、犯罪のない日本になって欲しいです。（30 歳代 女性）

何ができるのか、迷います。（40 歳代 男性）

よかったとお答えしていいものかわかりませんが、とても悲しく拝見しました。（50 歳代 女性）

人間生まれてきた以上、生きる権利は誰でもある。それを人間が奪うというのはどうだろう。許されることではないと思う。

みんなが自分の命が、最後までまっとうできる社会を作ってほしい。残された家族は元より、命を奪われた人は報われない。(40歳代 女性)

漠然としか感じていなかったが「ドキッ」とするほど、リアルに身近に感じた。

人の命は尊いものだとつくづく思い、生かされている自分を大事にしたい。(60歳代 女性)

一人一人へ家族からの想いを書いてあるものを読むと、一人の命の尊さがより伝わってきました。現代は、命の大切さを学ぶ機会があまりないと思うので、もっとこういう機会を持てるようにしないといけないと思います。

学校教育でも、もっと伝えるべきではないかと思います。(40歳代 女性)

いきてほしかった。かぞくがいやなおもいになるから。(7才の娘の感想です。)

交通事故で家族を亡くすのは、いたたまれない思いです。さっきまで元気だったのに、一瞬で命をうばわれてしまうなんて考えられません。子どもにいつも気をつけてと言っていますが、気をつけていても悪質な加害者がいる限り安心できません。刑罰も軽すぎると思います。

もし自分の家族が事故や事件にまきこまれて死んでしまったら、一生悔やむと思います。それで事故や事件にまきこまれて亡くなった人達が、罰をあたえられるのもありえないほど軽くておかしいと思いました。(40歳代 女性)

すごく、つらい思いになった。人はいつ亡くなるかわからないし、自分の大切な人もいついなくなるかはわからないので、みんなをもっと大切にしようと思いました。そして、事故にも気をつけようと思いました。(10歳代 女性)

大切な人を亡くすことは、とても辛いことだと思います。自分の大切な人が、もし同じようなことになってしまったらと思うと、胸が痛いです。

このような事故や事件などは、もう起こってほしくないと思いました。

(10歳代 女性)

被害者の当時の身長のパネルや遺品のくつを展示しているのがとても印象的でした。

まるで被害者の声を直接聞いているみたいだった。(30歳代 男性)

事故が多いと知ってましたが、クツを見て泣けてきました。(70歳代 女性)

不合理に命を絶たれることのつらさ、悲しみに耐えられません。(50歳代 女性)

殺人事件などで亡くなっていく方がいますが、毎回思います。

なぜ他人に命を奪われないといけないのか・・・(40歳代 女性)

小学4年生の娘に見せたいと思い、立ち寄りました。泣きそうになったそうです。
いかに危険が多いか、認識できたと思います。(40歳代 女性)

テレビ等でこのような取り組みがあることは知っていましたが、初めて、間近に見ました。
ひとりひとりの大切な命、人生が一瞬にしてうばわれ、加害者は軽い刑で、被害者は泣き寝入り
のような状態が多いということで、どんなに家族がくやしかったことか。本当に心が痛みます。
私も車を運転する身、加害者にならないよう気をつけようと思いましたが、被害者にもなりたく
ないと思いました。
そして、日本の優秀な警察の方、もっと真実をあらわにしてほしいし、加害者にそれ相応の刑罰
を与えてほしいと思いました。(50歳代 女性)

犯罪者の罪を重くすることも一策とは思いますが、発生防止を今以上に検討し、実行をしてゆかねば
ならぬ。(60歳代 男性)

ふと、通りかかっただけだったが、内容を見て色々と考えさせられた。
自分が運転する事も、自分が道を歩く時も、まわりをしっかりと見て、こういった事故は無くさな
いといけないと思った。(20歳代 女性)

いじめや交通事故、その他の理不尽で信じられない様な理由で、被害者の方がその人生を終わら
せられた、その新聞やニュースでは、一行やごく短く報じられる実際の細かい部分を知り、普段か
ら私自身が思ってきた気持ちが、より強くなりました。(加害者に対する人権を守る事ばかりが優
先されるこの国の法律がおかしい etc)
失われた命は戻らないけれど、その死を無駄にしないように、私も自分自身もだけど、子どもを
育てる際に、人の痛みや他人の命も大切に思える様な子どもになるよう努力したいです。
この国の法律がもっと変わり、道徳教育にも、もっと力を入れてもらいたいです。
(40歳代 女性)

命の大切さ、生きることの素晴らしさを知りました。
私も、亡くなった人の思いを考えて、たのしく生きていきたいと思いました。来てよかった
と思いました。(10歳代 女性)

これからの日本社会を大切に守り育てていくには、現在10、20、30才代の若者達の力が一番大切
です。特に、20、30才代の若者達が、人を大切にする事を切に願います。
(60歳代 男性)

運転のしやすさ、車の性能の進化、ドライバーは楽に運転をしすぎている。もっと慎重に、安全
に運転するため、刑の厳罰化を支援します。(40歳代 男性)

大切な御家族を亡くされた悲しみ、突然、命を絶たれた御本人様の無念が伝わりました。
心から御冥福をお祈りします。(50歳代 女性)

自分の家族も同じように亡くなっているので、読んでいて思い出して涙が出ました。(30歳代 女
性)

通りがかりでしたが、考えさせられる事がとても多く泣きそうになりました・・・。私も子どもができ、やっと1才になったばかりです。幸せに生きていけたはずの子ども達・・・とても悲しい・・・本当に。家族の方々の心を思うと心が痛みます。

今ある幸せは、普段気づかないけど、生きている事が最大の幸せだとあらためて思いました。生命のメッセージ。確かに届きました。ありがとうございました。（30歳代 女性）

かけがえのない「いのち」、「一度きりの人生」という言葉を、もっと重く、人々に感じてほしいと思いました。今回のようなパネル展や講演を、もっと行ってほしいと思いました。

（50歳代）

普通に生活している人には知られていない、いろんなことが世の中にはあり、すべて原因があり、（結果が）あるということ。その原因がともすれば、うやむやになったり、力まかせで消えていたり残念なことです。

命の大切さをもっとメッセージとして送ってください。（70歳代 男性）

通りがかりに見せていただきました。不幸は、いつも側にあるんだなあ実感しました。いつ私にもみんなにも不幸はふりかかりますね。

警察の方の自殺した息子さんに対する調書へのサインなど、現実のものなのか、本当に事務的に人の生命を扱う方法に、憤りを覚えました。（60歳代 女性）

命の大切さ。大阪の交通マナーは日本一悪い。しかも、刑事事件も多い。金銭にまつわる事件等、あまりにも多すぎる。このパネル展非常に意義あり。

又、被害者も団体を作って、行政に改善（厳罰しかない状況かな？）をもっともっと働きかけては。寝屋川市でもやってみたい。（70歳代 男性）

写真がきれいで、まだ子どもなのに、かわいそうに思いました。（60歳代 男性）

「生命のメッセージ展」という言葉に、全然興味がわかなくて、最初もただちらっとパネルを見ただけだったけど、何というか言葉じゃないものが伝わってきた気がした。多分、被害者の御家族の方々も、言葉では表しきれないものがあつたのだと思う。文面から思いがあふれていた。

今、生きているという喜びをかみしめられた。私のこの思いも、言葉では表しきれない。

（10歳代 女性）

被害内容は異なりますが、被害者当事者として参加させていただきました。私も、互いのいのちを思い合える社会の実現を願っています。

こどもや大人が、被害者や加害者になることのない社会、そして、あつてはならないことですが、残念ながら被害に遭ってしまったり、被害者家族となってしまった時、優しくやわらかいサポートに出会える社会となりますように。

本当にありがとうございました。（30歳代 女性）

悲し過ぎて心が痛みます。（40歳代 女性）

学校に巡回してください。（30歳代 女性）

<p>この様な展示は初めてだったが、折にふれ色々なことを考えるきっかけになりました。家族で話をしたいです。（60歳代 女性）</p>
<p>同じ子どもをもつ母として、すごく辛くなった。TVで見た事もあり、興味があり拝見させていただきました。</p> <p>私も、親として子どもを守りたいし、運転は、気をつけたいと改めて思いました。（30歳代 女性）</p>
<p>被害者側だけでなく、加害者側の意見も並べられていると良かった。一方の立場だけだと偏るので。（30歳代 男性）</p>
<p>初めてパネル展を見て、大きなショックを受けた。</p> <p>履いていた亡くなった人々のくつを見て、メッセージを読んで、家族や友人の悲しみの深さを強く感じられた。</p> <p>自分も運転していて、家族（主人・子ども）いるので、他人事と思えない。安全運転を心がけようと改めて反省。</p> <p>亡くなった人々のご冥福を心からお祈り致します。このような悲しい事件が、二度と起きませんように。我々が真剣に考え、取り締まないといけないのです。（50歳代 女性）</p>
<p>初めて接したので、こういうボランティア？もあるのだと感じた。</p> <p>若くして亡くなられた方々の、ご冥福をお祈りします。まだまだ生きたかっただろうと思うと、胸がいっぱい、つぶれそうになります。</p> <p>世の中、理不尽な事が多すぎますね。（60歳代 女性）</p>
<p>うちも、小学生の子どもが3人いるので、交通事故には気を付けるようによく言っていますが、まだまだ注意が足りないと思いました。（40歳代 女性）</p>
<p>ゆっくり見たいと思うが、涙が出てきそうになるので、目をそらしてしまう。</p> <p>特に若く亡くなったり、小さい子どものくつを見ると、不条理すぎる。</p> <p>少し気をつければ大切な命がなくなる事はなかったのに。（50歳代 女性）</p>
<p>継続することが大切ですね。（40歳代 男性）</p>
<p>被害者の悲しい現実を知った。（10歳代 女性）</p>
<p>被害者のまた、家族の悲しい現実にしては、加害者の刑があまりにも軽すぎる。刑法を厳しくしても、現実に戻らないけど、せめて厳しくすると、このような事故を避けるために、このような加害者をつくらないために、何かなる手段かなとも思います。（40歳代）</p>
<p>被害者とその家族の痛みや、つらい思いを知ることができました。（30歳代 男性）</p>
<p>等身大のパネルと遺品のくつが、亡くなられた方を、より現実味を帯びて感じる事ができました。（30歳代 女性）</p>

パネルと共に、ご本人様が日常身につけられていたくつを見ると、胸がしめつけられる思いがしました。

残されたご家族の悲しみ無念さを思うと、加害者がおこしてしまった罪を正しく調べ、それに見合う罪に対して、心からつぐなってもらいたいと思います。(60歳代 女性)

その人が生きていた証として、これからも続けてほしいと思います。(40歳代 女性)

継続した広報、啓発事業に期待します。ガンバッテください。(50歳代 男性)

ひとつひとつの命の重みをあらためて感じました。ご家族のコメントを読んでいると、涙が出ます。

こうした方々への支援がもっとあるようにと、願わずにはられません。(40歳代 女性)

突然、家族を亡くされたことも考えると心が痛みます。(40歳代 女性)

新聞、テレビなどのニュースでしか知らなかったが、今回のパネル展で、深く知ることができました。(60歳代 女性)

生命(いのち)のメッセージ展 アンケート

堺市 市民協働課

この度は、『生命(いのち)のメッセージ展』にご参加いただき、ありがとうございました。
今後の事業の参考にさせていただきますので、アンケートのご協力をお願いします。

◆ご自身について教えてください

問1 性別・年齢について

1 男	2 女				
1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代		
5 50歳代	6 60歳代	7 70歳代	8 80歳代以上		

問2 お住まいについて

1 堺区	2 中区	3 東区	4 西区	5 南区	6 北区	7 美原区
8 堺市外 (_____)						

問3 今回のパネル展を何でお知りになりましたか？(該当するもの全てに○を付けてください)

1 案内チラシ・ポスター (どこで? _____)			
2 広報さかい	3 堺市ホームページ		
4 堺市役所庁舎内におけるインフォメーション			
【・庁舎広報モニター ・エレベーターインフォメーション ・館内放送 ・その他 (_____)】			
5 知人から聞いた		6 通りがかり	7 その他 (_____)

問4 参加された動機は何ですか？(該当するもの全て)

1 内容に興味があった	2 タイトルにひかれた	3 知人に誘われた	
4 通りがかり			5 その他 (_____)

◆堺市における犯罪被害者等支援制度について

問5 「犯罪被害者支援」という言葉は知っていましたか？

1 はい	2 いいえ
------	-------

問6 堺市における犯罪被害者等支援条例をはじめとする施策で、次のなかで見聞きしたことがあるものはどれになりますか(該当するもの全て)

1 堺市犯罪被害者等支援条例	2 堺市犯罪被害者等支援の総合相談窓口の設置
3 一時避難住宅の設置	4 犯罪被害者等支援カウンセリング
5 「いのちの大切さを考える講演会」講師派遣事業	
6 その他 (_____)	
7 見聞きしたものはなし	

裏面に続きます

◆パネル展について

問7 これまで犯罪被害者支援に関するパネル展に出席したことはありますか？

1 はい 2 いいえ

どのようなパネル展示に出席されましたか？

(_____)

問8 今回のパネル展の感想をお聞かせください。

よ か っ た まあよかった どちらでもない あまりよくなかった よくなかった
1 2 3 4 5

(その理由、ご意見、ご感想などをお書きください。)

問9 個人が特定されない形で、ご意見を市の広報誌、ホームページなどに紹介してもよろしいですか。

1 はい 2 いいえ

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。